

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議
報告事項（相談支援部会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題

（1）活動報告

令和6年度 定例会

●3月19日（水）令和7年度相談支援部会活動方針検討

活動スケジュール、運営体制、活動方針、活動内容の確認等、グループ分け

- ・事例検討会班／事例検討会の開催準備、グループワークのファシリテーション、出た課題の分析、等
- ・継続課題班　／令和6年度に出た「ヘルパー不足」について検討、区と協働して目黒区でできる取組を考える、等

令和7年度 定例会

●4月17日（木）令和7年度相談支援部会活動方針全体共有、班活動

令和7年度の活動方針：課題抽出を柱とした活動を行う（別紙の活動方針参照）。

【事例検討会班】

各事業所から事例を出し合い、「8050・9060」、「親亡き後」、「社会資源不足」が共通課題であることを整理した。

【継続課題班】

- ・前年度本会議で挙げた課題、「ヘルパー不足」の振り返りを行った。
- ・区内移動支援事業所に対し、実施予定のアンケートの質問事項等を精査し、どのような内容にしていくなか話し合っていくことを活動目標とした。

●5月15日（木）自立支援協議会イベントについて、班活動、全体共有

自立支援協議会イベントを開催について、アンケート調査（相談支援部会）を行うこととした。

【事例検討会班】

2つの事例に分かれてのプレ事例検討会を行う

- ① 50代男性、身体障害・精神障害、高齢の母と2人暮らし
- ② 50代男性、重度心身障害、姉（重度心身障害）と高齢の母と3人暮らし

【継続課題班】

移動支援に係るアンケートの内容についての話し合い

- ・移動支援事業所の負担が大きくなり、答えやすい質問を検討
- ・ヘルパー不足を課題として挙げられるような質問を検討

運営会議の開催（開催時 基本第1木曜日） 3/6、4/3、6/5

- ・ 毎月の定例会終了後、運営委員で集まる。
- ・ 役割班の活動について共有し、翌月の運営会議の次第を確認する。
- ・ 翌月の運営会議開催の必要性について協議し、開催の必要がなければスキップする。
- ・ 翌月の運営会議をスキップする場合は、定例会の次第をその場で決める。

令和7年度の運営委員メンバー

部 会 長 ：橋本（地域生活相談支援センターセサミ）

副部会長 ：谷津（たんぼぼの会） 大石（ひまわり）

運営委員 ：目黒障害者相談センター、あいアイ館、地域生活支援拠点、その他任意の事業所

事 務 局 ：岡村、小野寺（基幹相談支援センター）

<今後の事例検討に関する方針案>

- ・ 前回プレ事例検討会を行った2つの事例だけでなく、事例検討会の数を重ねていき、そこから課題を見出していく⇒事例検討会班だけでなく継続課題班にも事例を出してもらう
- ・ 課題を出してもらう順番や事例検討を行う頻度、進め方等を検討する。
- ・ 7月に全体での事例検討会を目指し、司会や流れ、グラドルールを決める等準備を行う。

（２）活動を通じて得た課題

※各部会・各連絡会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。

① 事例検討会班で行ったプレ事例検討会で出た課題

- ・ 地域の社会資源の不足（精神障害者）
自立生活を実現するために利用できる短期入所や宿泊型訓練施設などの資源不足
- ・ 重層的課題を抱えた事例への計画相談員の負担と対応の難しさ
- ・ 死の現場に立ち会う可能性への対処
- ・ 「8050」「9060」問題の課題を誰がどのように解決し、支援していくのか
- ・ 自立支援協議会に地域課題として挙げるには、何を基準に事例を選定し、課題として挙げる
ためには何が必要なのか整理する必要がある。

② 自立支援協議会イベントの開催についてのアンケート調査

- ・ イベント自体の開催について意義は感じるが、多忙な中での開催準備、担い手など、課題や負担感が大きく、開催について積極的になれない現状がアンケート結果より明らかになった。

相談支援部会の活動方針

相談支援部会は、目黒区障害者自立支援協議会の専門部会として、地域の相談支援に関する協議を行うことを目的として開催する。

部会員については、区内の指定特定相談支援事業所に従事する相談支援専門員等を中心に、相談支援部会の目的に賛同される方々で構成する。

【目的】

- (1) 相談支援の実態や課題の把握、検討を行い、その内容を目黒区障害者自立支援協議会に報告する事で社会資源の開拓や改善を目指す。
- (2) 相談支援事業所等が円滑な相談業務を行うために情報の共有や検討を行う。
- (3) 相談支援業務等に携わる地域内外の関係機関等のネットワークの構築を行う。
- (4) その他相談支援業務を実施するうえで必要な事項を行う。

【活動内容】

- (1) 相談支援部会の定例会を通して課題の抽出を行い、目黒区障害者自立支援協議会に報告や提案を行う。
- (2) 計画相談に関わる内容や制度、社会資源等の情報の交換、共有を行うと共に、相談支援専門員のスキルアップやフォローを行う。
- (3) その他、部会の活動目的を実現するために必要な活動を行う。

【運営委員構成】

部 会 長…1名

副部会長…1～2名

運営委員…委託事業所、指定管理事業所、区直営事業所、地域生活支援拠点、任意の事業所

事務局…基幹相談支援センター

※部会長、副部会長、運営委員は、①あいアイ館 ②いきいき福祉相談支援センター ③セサミ ④たんぽぽの会 ⑤ひまわり ⑥目黒障害者相談センターの6事業所で、原則1年として持ち回り制にする。再任は妨げない。

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議 報告事項（高齢化・グループホーム対策連絡会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題
（1）活動報告
3/18(火)に部会実施。9名出席。 ・ 令和7年度の連絡会の日程を決める。13:30～15:00 @こぶしえん ① 5/16(金) ②7/18(金) ③9/19(金) ④11/21(金) ⑤1/16(金) ⑥3月中旬（未定） 5/16(金)に連絡会実施。9名出席。 ・ グループホームにおいて、外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催すること、会議構成員が事業所を見学する機会を設けることが今年度から義務付けられたことを再確認。 ・ イベント実行委員会報告。 イベントについて、現状の各部会活動紹介パネル展示のみの実施では意義を感じにくいという意見多数。さんままつり等の既成イベントへの参加や、グループホーム関連の映画上映等の提案があった。
（2）活動を通じて得た課題
※各部会・各連絡会の所掌する傷害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。 特になし

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議 報告事項（一般就労連絡会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
前回の報告以降の活動はなし。 5月13日に施設就労部会長を交えて事務局会議を開催し、別紙の内容を検討した。 その後、事務局（案）を部会員に送信し意見等を聴取し、今年度の活動を本内容で行うことを確認した。 ・施設就労部会との合同開催とする。 ・テーマを「就労選択支援と」する。
(2) 活動を通じて得た課題
※各部会・各連絡会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。 特になし

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議 報告事項（施設就労連絡会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
・ 3/7 2024 年度第3 回施設就労連絡会開催 「各事業所における意思決定支援の取組について」 日程が別会議と重なってしまったため、参加者がいつもより少なくテーマについての話し合いは十分にできなかった。
(2) 活動を通じて得た課題
※各部会・各連絡会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。 ・ 2025 年度上半期は 10 月より就労選択支援事業が開始されるため、一般就労連絡会との合同開催でこの事業について理解を深め、目黒での取り組みや B 型事業所に与える影響等についてともに考えていくことを計画している。

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議 報告事項（子ども部会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題
（1）活動報告
3月定例会→・本会報告。 ・令和7年度子ども部会の体制と障害者通所事業所連絡会発足について 4月定例会→・令和7年度の活動方針について（前年度と引き続き大きな変更はなし） ・年間スケジュールについて。偶数月は第二木曜日、奇数月は第二金曜日を定例会開催日とする。開催時間を1時間とする。 ・自己紹介（事業所紹介） 5月定例会→事例抽出のためのグループワークを行い3つのテーマを抽出した ① 早期発見（医療、保健所との連携強化） ② 子どもの交流の場の充実（社会資源の活用とそこでの課題抽出） ③ ライフステージにおける意思決定支援（子どもの意見を尊重する） 6月定例会→5月定例会で抽出したテーマをもとに②子どもの交流の場の充実を「居場所のない方（障がい児者）への支援」という言葉に変換し、グループワークをおこない、事例を抽出した。尚、①早期発見については管轄部署が異なるため、まずは情報収集をおこなう。③意思決定については学習会で取り扱うこととした。 【今後のスケジュール】 7月定例会→事例検討① 9月定例会→事例検討①報告 10月定例会→事例検討② 11月定例会→学習会（意思決定について） 12月定例会→事例検討②報告とオフ会 1月定例会→事例整理 2月定例会→見学会 3月定例会→1年間の振り返りと次年度に向けた検討
（2）活動を通じて得た課題
※各部会・各連絡会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。 ・毎月の定例会の議事録などを他の部会・連絡会、本会議の方々にもご覧いただくことで、話しの方向性などに齟齬がないか、事務局以外の意見もあることで目的達成が早くなるのではと感じている。

子ども部会主催のワークショップについて

1. ワークショップについて（予定）

（1）目的

障害の有無にかかわらない地域の人が、相互に理解を深めるための交流の場として、親子で食を通じた学びの場を提供する。

（2）概要

開催日：令和7年秋頃の土曜日

開催場所：区内の特別支援学級がある小学校（碑小学校・菅刈小学校・八雲小学校、鷹番小学校など）の家庭科室

対象：小学生の親子 最大40名（20組）

障害の有無にかかわらない参加者を募集し、学びの機会を提供する。

講師：高橋恒雄氏（宮内庁 4代目大膳課主厨長）

内容：①講師とともに調理実習（おにぎりや味噌汁など簡単に取り組めるもの）

②トークセッション

主催：目黒区障害者自立支援協議会 子ども部会

2. 目黒区障害者自立支援協議会・子ども部会の活動との関連

子ども部会は目黒区障害者自立支援協議会の下部組織の一つであり、障害のある子どもの生活環境の改善や地域連携を推進する役割を担っている。

本ワークショップは、令和6年度から子ども部会が取り組んでいる地域課題※の検討を通じて、発達障害児に対する地域支援と教育や保健医療など福祉以外の分野との連携の必要性を再認識したことを機に、部会活動の一環として実施するものである。

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議 報告事項（意思疎通支援連絡会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題
(1) 活動報告
○各当事者団体における活動の成果として、「目黒区手話言語条例」が令和7年4月1日付けで施行された。また、失語症会話パートナー等派遣事業も令和7年度より開始となった。 ○今年度の部会開催に向けて、各部会員（当事者団体）へ意向確認中。
(2) 活動を通じて得た課題
※各部会・各連絡会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。 ○高齢化、重度化、複雑化によって当事者団体の機能維持と持続維持と持続可能な横のつながりの確保。

令和7年度第1回目黒区障害者自立支援協議会本会議 報告事項（防災連絡会）

1. 活動報告及び活動を通じて得た課題	
(1) 活動報告	
4月15日（火） 17時～18時	第1回 ・令和7年度の防災連絡会
6月11日（水）	第2回 防災連絡会主催 めぐろ福祉情熱大陸 西郷Café 就労支援・医療的ケア・リハ 1830～20:30
8月 or 9月	第3回防災課長・障害施策推進課長との意見交換 地域避難所及び福祉避難所、災害時協定に関する事など 防災関連の学習会＆交流会
9月 日（ ）	第4回 目黒区介護事業者連絡会と合同開催（目黒総合庁舎大会議室）
11月 日（土）	【啓発活動】スマプラフェスタ2024
12月 日（土）	【啓発活動】めぐろふれあいフェスティバル
3月 日（ ）	今年度のまとめ
(2) 活動を通じて得た課題	
※各部会・各連絡会の所掌する障害の分野に関する課題や他の部会・連絡会と共有して解決すべき課題について記載してください。	